



平成17年度北海道支部大会

平成17年度北海道支部大会が平成17年6月17日(金)に研究成果活用プラザ北海道(札幌市)で開催されました。午前は9時30分から研究発表会がおこなわれ9件の研究報告等が発表されました。その後の支部評議員会では、理事・評議員が参加して平成16年度活動経過および財務報告、平成17年度活動方針案および予算案の提案、人材育成プロジェクトへの協力、第147回全国講演大会などの議案が審議され、すべて了承されました。さらに、本部理事の桃野 正氏(室蘭工大)から工学会本部の動向に関する報告がありました。

引き続き午後1時過ぎから平成17年度の支部総会があり、佐藤支部長の挨拶の後、野口 徹氏(企画技術委員長・北大)から評議員会で審議された内容に基づいて報告があり、協議事項についてはすべて了承されました。また、本年度の支部表彰者として(株)村瀬鉄工所の上杉氏が選考され、支部総会の席上佐藤支部長から表彰状が贈られました。

その後、休憩をはさんでシンポジウムがあり、近畿大学の木口昭二氏の基調講演の後、「北海道発の鑄造新技術」をテーマに3件の事例発表がありました。シンポジウム終了後、同じ会場内で交流会がもたれました。



総会で佐藤支部長があいさつ



木口氏の基調講演



シンポジウムは野口氏の司会で

鑄造中核人材育成プロジェクト

経済産業省の産学連携製造中核人材育成事業に提案した「北海道における鑄造中核人材育成事業」のテーマが採択され、平成17年度～18年度の2ヵ年の事業がスタートすることになりました。この事業は、鑄造技術をトータルに掌握し、将来の北海道の鑄物づくりを担う技術者の育成するための教育システムの開発を目的としたもので、金属材料の基礎的領域の技術から、3D-CADや迅速成形技術、鑄造CAE技術、高機能鑄物製造技術などの発展領域までを視野に入れた事業内容になっています。

本年度は、基礎講座で金属材料の凝固や材料学、強度評価、CAD/CAM、品質管理などの科目について教育プログラムを開発するための実証講義等を行っていきます。次年度は、凝固解析、迅速成形、薄肉鑄鉄、鑄ぐるみによる複合化、凍結鑄型鑄造などの発展的分野についてインターンシップを含めた実習科目の教育プログラム開発が計画されています。

この事業は、(財)室蘭テクノセンターが管理法人となって推進されていきますが、将来的にはこの事業で得られた成果をもとに室蘭工業大学を中心とした新たな教育コースの開設を視野に入れて展開されていくことになっています。



プロジェクトの実証講義の様子

現場技術研修会 ~ 北海道青年鑄造技術者懇話会 (北海道YFE)

北海道青年技術者懇話会の主催による第8回鑄造現場技術研修会が、支部大会前日の平成17年6月16日(木)に工場見学会と技術研修会の内容で開催されました。午後1時30分までに榊村瀨鉄工所・札幌工場に集合し、まず同工場の担当者から見学に先立って特に今回見学するVプロセスの工程について説明がありました。その後、3つのグループに分かれて同社のVプロセスラインを中心に見学しました。引き続き北丘珠の榊木戸口木型製作所に立ち寄り木型製作の現場を視察しました。

工場見学の後、会場を道立工試に移して「品質工学を応用した実験計画法」というテーマで技術研修会を行いました。研修会は道立工試生産システム科の飯田憲一科長から品質工学にもとづいた問題解決の方法であるタグチメソッドを中心に普及の背景や活用方法について講演があり、続いて道立工試の戸羽氏からこの方法を装置開発の一部に応用した事例の紹介がありました。

研修会終了後、場所を移して懇親会を行いました。



Vプロ設備を中心に工場見学



品質工学について研修を受ける

技術講演会 ~ 支部YFE委員会



前川製作所の担当者から説明を受ける

北海道支部YFEの主催による平成17年度第1回技術講演会が、平成17年9月9日(金)午後1時30分から丘珠鉄工団地協会(札幌市)の会議室および榊渡辺鑄工所の鑄物工場を会場に開催されました。

鉄工団地協会の会議室で行われた講演会には榊前川製作所の首代氏から当社の冷凍技術を応用して開発した「凍結鑄型鑄造」の背景と技術概要の説明があり、その後、質疑応答が行われました。

講演会のあと、会場を榊渡辺鑄工所の鑄造工場へ移し、予め用意した凍結鑄型にFC溶湯を鑄込んで鑄物の状態を観察しました。

キュボラの能力を 100% 発揮する 東京ガスの鑄物用コークス

営業品目

コークス・加炭材・オイルコークス販売
石炭・無煙炭・鑄物用副資材販売
備長炭・オガ炭・各種木炭販売
液化石油ガス販売事業・建築業・管工事業・警備業

東京ガスエネルギー(株)特約店 明和産業(株)特約店
日本カーボン(株)特約店 東海カーボン(株)特約店
旭コークス工業(株)特約店 三菱化学産資(株)特約店

Xing 株式会社エクシング

本社営業2部 〒115-0041 東京都北区岩淵町39番23号
TEL 03-3901-3154・FAX 03-3901-3741
ホームページ: <http://www.x-ing.co.jp>
E-mail: info@x-ing.co.jp

明日の鑄物づくりに お応えします

Challenge the New! Your Solution Partner

花王クエーカー株式会社

〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3 TEL.03(5630)7841

<http://next.kao.co.jp/quaker>

東部営業所 中部営業所 西部営業所

TEL048-256-8126 TEL052-204-5621 TEL06-6533-7471

FAX048-256-8199 FAX052-204-5367 FAX06-6533-7942

K 豊隆日下レアメタル研究所



本社 東京都港区芝大門2丁目3番15号 一松ビル本館

TEL(03)3436-4681 FAX(03)3436-2154

川口営業所 TEL(048)253-2191 FAX(048)255-6937

北九州事務所 TEL(093)551-2313 FAX(093)551-1410

鑄物の基礎を支える

オリピンサンド、オリピンコーテッドサンド
オリピン塗型材、その他セラミックス材料

東邦オリピン工業株式会社

本社 東京都中央区京橋2丁目12番4号(光和ビル) TEL03-3538-3123

日高事業所 北海道様似郡様似町字幌満117-4 TEL01463-8-2111

北海道の鋳物～展示と鋳物教室

第147回全国講演大会の行事の一環で、北海道支部 Y F E 委員会の主催による北海道の鋳物展示と鋳物教室のイベントが平成17年10月28日(金)午前9時から午後6時まで J R 札幌駅の西コンコースで開催されました。鋳物展示には、道内の鋳物工場6社と併せて室蘭の瑞泉鍛刀所から製品などを出展しました。

また、鋳物教室には札幌市内の小学校から参加した子どもたちや会場を通りかかった人たちに、低融点合金を用いたアクセサリやメダル作りを体験してもらいました。

このイベントには、室蘭工業大学・清水研究室の学生にも積極的に協力してもらい、子どもたちだけでなく、広く一般の人たちに鋳物を身近に感じてもらうことができ、清水氏からはまた機会があれば開催したいとのコメントがありました。



会場(JR札幌駅)の様子



参加した小学生に鋳物作りを体験

営業品目

鋳材………加炭材、フェロシリコン、フェロマンガン
 砂 (オリビン、珪砂、ジルコン、タロマイト、各種コーテッド)
 フラン、ノーバーク、その他レンジ
 球化剤、スリーブ、各種耐火物


鋳機………高周波電気炉 (富士電設工業)
 有機自硬性設備 (大洋鋳機)
 シェル (流連製作所)、ショット (ニッチュー)

その他………サンドプラスト用 K サンド
 シェル中子 (各種、御相談に応じます。)

株式会社 **菊目屋商店**
 札幌市西区発寒16条12丁目1番10号
 電話 011-661-1531
 FAX 011-664-0382

鋳造業界のニーズにこたえる AV ライト

AV ライトシェルモールドレジ
 AV コーテッドサンド
 AV ライトコールドボックスバインダー
 AV ライト有機自硬性バインダー

 **旭有機材工業株式会社**

東京支社 東京都千代田区内神田2-15-9
 工業用樹脂営業本部 TEL03-3254-0255
 工業用樹脂第一販売部 TEL048-641-0222
 埼玉県大宮市土手町1-62-1 ワコーレ大宮ビルII
 栃木工場 TEL0287-29-1881
 栃木県大田原市上石上字東山 1840

鋳物材料 鋳造機械

— 営業品目 —

◎鋳物用珪砂 ◎合金鉄・黒鉛ルツボ
 ◎生型・有機・無機粘結材 ◎鋳造機械・鋳造プラント
 ◎塗型剤・耐火材料 ◎誘導炉

 **株式会社 砂金本店**
 〒332-0034 埼玉県川口市並木1丁目13番10号

▽川口 048 (251) 5860 (代)
 FAX 048 (251) 2888

福島営業所
 〒963-3603 福島県田村郡滝根町大字広瀬
 ☎ 0247 (68) 1050
 FAX 0247 (78) 2442

洋風居酒屋
南部坂
 NANBU ZAKA

TEL : 0138-22-0588
 040-0053 : 函館市末広町3番4号

■営業時間 /PM6:00 ~ PM11:30(毎週火曜定休)

鋳物用副資材販売
 鋳物用機械修理販売
 FC並びにFCDトリペ解体・施工
 シェル中子製作

有限会社 目黒商店

札幌市白石区菊水上町1条1丁目346番地
 TEL 841-1470

会報編集委員会

支部会報編集委員会は、第77回編集会議を平成17年8月22日(金)午後2時から、第78回編集会議を平成17年9月21日(金)午後2時30分から、いずれもテクノプールさっぽろ(札幌市)で開催しました。

これらの会議では、秋の全国大会にあわせて発行する支部会報第131号の記事取材の進捗状況と今後の進め方が話し合われました。これらの編集会議を経て、会報第131号は、技術の伝承をテーマにした座談会や、道内鑄造関連企業、研究室等の紹介を中心に編集され、10月28日から北海道大学で開催された全国大会の折りに参加者に配られました。



大笹委員長を中心に会報特集号の編集作業を進める

第147回全国講演大会

日本鑄造工学会第147回全国講演大会が10月28日～31日の日程で北海道大学を会場に開催され、28日は技術講習会とY F Eによる鑄物教室、29～30日は研究発表および記念講演、31日は工場見学が行われました。

技術講習会は、鑄造品の非破壊評価技術をテーマに講演と実演が行われました。29日の記念講演は、「地球生態系とウィルスの輪廻」と題して北大の喜田 宏氏による講演がありました。31日の工場見学は、室蘭地域、苫小牧地域、千歳地域の3つの班で各工場の見学を行いました。

また、28日のY F E主催による北海道の鑄物展示と鑄物教室がJ R札幌駅構内で開催され、広く一般市民に「鑄物」をPRすることが出来ました。



喜田 宏 氏(北大)による記念講演

(社)日本鑄造工学会

北海道支部からのお知らせ

平成18年度北海道支部理事会

平成18年度支部理事会を、平成18年2月9日(木)午後3時から札幌市内で開催いたします。関係者には別途お知らせいたします。

平成18年度北海道支部大会について

平成18年度支部大会は、平成18年6月中旬に室蘭市で開催を予定しています。詳細は理事会で協議した後、改めてご案内いたします。

(社)日本鑄造工学会 北海道支部ニュースレター

第 3 号

発 行： 平成18年1月30日

発行所： (社)日本鑄造工学会北海道支部
室蘭市茶津町4番地
(株)日本製鋼所室蘭製作所内
電話：0143-22-9226

WWW： <http://www.jfs-hokkaido.jp/>